

質問への回答②

【質問】

大災害時の避難所運営などには、組織の整備が必要だと思います。日頃から様々な公的・私的団体が協力して災害を想定した体制を作ることが重要と聞きました。そのような体制は、どのように作ればよいのか、手順やコツがあれば教えてください。また、体制づくりをまとめる際、誰が音頭を取るのでしょうか？（自治会長）

【回答】

大規模な災害時には、小学校などに「指定避難所」が開設されますが、短期であれば行政の主導でも運営は可能かと思います。しかしながら、南海トラフ地震と津波被害を想定した場合には、避難所生活で長く生活せざるを得ない状況となると、そこに暮らす方々でルールを決めながら運営するほうが、運営しやすいと思っています。

そのためには、教室の利用方法を例にすれば、地域のくくりでいうと例えば1丁目の人たちは、使っていない学校があれば1年1組と1年2組と表示された教室を利用する。2丁目は同じく2つのクラスを利用する。それに班長を決めて運営するという内容などを事前に申し合わせをし、行政とも話しておくことで、行政依存で不安や不満のある避難所を少しでも暮らしやすくすることは可能ではないかと考えます。石巻市でも、事前には話し合っていないかったものの、自治会の皆さんさんから提案があり、それに近い形で運営された避難所もあります。

このようなことを事前に行うには「自主防災組織」を自治会で整備されていれば、避難訓練を行う際に住民さんにイメージしておいてもらうことが肝要かと思われるので、行政とも事前に運営についても話合いの場を最初にしておくことが大事となります。また、全員が生存するとは限らないような災害も想定し、行政機能が正常には働かないことも考え、自助と共助で当面は乗り切れるよう、備蓄品などの用意は必須かと思っています。

自治会の役員の皆さんも多岐にわたる役回りもあるかと思いますが、ご自身やご家族、子や孫の世代に向けて、誰かがやってくれるだろうというのは現実的には無い

ものとして、私たちの代で何とか準備しようとしていただける人が増えることを願ってやみません。私もこれからも孫世代のためにも、自分ができる精一杯の努力を惜しまないように生きておられますので、諸先輩皆様方も、自身のお身体やご家族にご相談しながら、「災害にも強い地域づくり」を担っていただけたらと思っております。

社会福祉協議会や、災害支援関係の団体など、ヒントを持っている団体を共に考え歩んでいただければと思います。